

脳神経外科

スタッフ紹介



診療部長
橋本 直哉
教授 (H2)
脳腫瘍
脳血管障害
小児
機能的疾患

やまなか 山中 巧	講師	(H10)	小児疾患・脳腫瘍
まるやま 丸山 大輔	講師	(H14)	脳血管障害・脳血管内治療
たにやま 谷山 市太	助教	(H18)	脳腫瘍・脳血管障害
おかもと 岡本 貴成	助教	(H26)	脳腫瘍・脳神経外科一般
かわべ 川邊 拓也	客員講師	(H10)	脳腫瘍・ガンマナイフ
はせがわ 長谷川 洋平	医員	(H28)	脳神経外科一般
かまた 鎌田 一晃	医員	(H29)	脳神経外科一般
あおき 青木 拓磨	医員	(H29)	脳神経外科一般

私たちの業務

◆ “Time is Brain”：超急性期の診断と治療に対応します。

脳神経外科の特色のひとつは脳血管障害（脳卒中）や頭部・脊椎外傷（神経外傷）などの救急医療にあります。救命救急センターと協働し、より高度な診断治療を要する重症くも膜下出血や脳塞栓症および神経外傷に、迅速かつ精確に対応し、救命率の向上にのみならず機能予後の改善を図っています。現在6床の脳卒中ケアユニット（SCU）が稼働しており、脳卒中チームの医師がSCUホットラインを通じて24時間、365日にわたり救急対応しています。

◆ 重症・難治性疾患における根治的治療と機能予後の改善

難治性の神経腫瘍（グリオーマ）、小児腫瘍や頭蓋底疾患に対して、外視鏡・内視鏡、ナビゲーションシステムや各種モニタリングといったハイテク・IT機器を駆使して、高度な手術手技を基盤とする積極的な外科治療を施行し、疾患の根治性と機能予後を高めています。関連診療科と連携協調して治療後の生活（QOL）及び仕事（QOW）の質の向上を図った診療を行っています。

◆ 脳を守って活かす治療：無症候例・軽症例に対する予防治療

最近では脳ドックの普及により、無症状で偶然に発見される髄膜腫などの脳腫瘍や、脳動脈瘤、脳梗塞が増えています。私たちは病態の自然経過やPET検査から腫瘍の増殖能や脳循環予備能などを的確に未来予測し、患者さんの年齢や社会生活を加味して治療時期や治療方針を個別的に決定、オーダーメイド医療を実現します。

◆ 科学的根拠に基づいた医療（EBM）と物語・対話による医療

最新の大規模臨床試験の結果を踏まえた世界標準の医療を基盤としながら（EBM）、私たち独自の治療経験、研究結果の蓄積を加え、患者さん個人の背景や生活様式に応じた対話による医療を提供し、優れた治療成績を得ています。

私たちの社会的役割は、国内の脳神経外科施設が整いつつある今日、より専門性の高い最先端高度医療を提供し、関連診療機関と交流を図りながら地域に信頼される診療を確立することにあります。スタッフ全員の知識・技術力、専門性、さらには人間性を向上させ、チーム医療によってより安全な診療を実現します。

外来診療担当医師予定表

令和8年7月1日現在

	月	火	水	木	金
初診	橋本 〈脳腫瘍・小児・脳血管障害・機能的疾患〉	岡本 〈脳腫瘍・脳神経外科一般〉	橋本 〈脳腫瘍・小児・脳血管障害・機能的疾患〉	谷山 〈脳腫瘍・下垂体・脳神経外科一般〉	山中 〈小児脳神経外科・脳腫瘍・脳血管障害〉
再診	丸山 〈脳血管障害〉 川邊 〈ガンマナイフ・脳神経外科一般〉	青木 〈脳神経外科一般〉	山中 〈脳神経外科一般〉	長谷川 〈脳血管障害・脳神経外科一般〉	鎌田 〈脳神経外科一般〉

実際の診療

病名・病態	必要な診療	当科の対応
●脳腫瘍 脳原発悪性腫瘍 転移性脳腫瘍 良性腫瘍	・CT、MRI、PET、脳波 →開頭手術、放射線治療（陽子線含む）、化学療法、免疫療法、電場療法などの集学的治療 →開頭手術、定位放射線治療（ガンマナイフ）、全脳照射 →開頭手術（内視鏡手術を含む）、放射線治療	・手術はナビゲーションシステム、蛍光誘導手術、覚醒下手術、各種モニタリングを駆使して、安全に腫瘍を摘出します。 ・原発巣の治療科と連携し、頭蓋内転移巣を制御します。
●脳血管障害 くも膜下出血 未破裂脳動脈瘤 脳内出血 脳梗塞 内頸動脈狭窄 脳動静脈奇形 硬膜動静脈瘻	・CT、MRI、脳血管撮影、超音波検査、脳血流シンチ、 →血管内手術、開頭手術 →内科的治療、開頭手術、内視鏡手術 →内科的治療、血栓回収術、ステント留置術 →血管内手術、開頭手術、放射線治療	・脳神経内科や救急科と連携し脳卒中に対し迅速に対応します。 ・未破裂脳動脈瘤や内頸動脈狭窄に対する脳卒中予防の治療も積極的に行っています。 ・血管内手術を積極的に行っています。 ・早期から回復期リハビリテーションを行います。
●頭部外傷（神経外傷） 急性硬膜外出血 急性硬膜下出血 慢性硬膜下血腫	・CT、MRI、脳波、高次脳機能検査 →急性期薬物治療、開頭血腫除去術、外減圧術、リハビリテーション →穿頭血腫洗浄術（局所麻酔下）	・救急科と連携し、速やかに対応致します。重症例は緊急入院の上、頭蓋内圧モニタリングなどを駆使して神経集中治療を行います。
●小児疾患 脳腫瘍 水頭症 脊髄髄膜瘤 脊髄脂肪腫 キアリ奇形 頭蓋縫合早期癒合症 もやもや病	・CT、MRI、脳波 →開頭手術 →シャント手術、内視鏡手術 →閉鎖術 →摘出術 →大孔減圧術 →頭蓋形成術 →バイパス手術	・小児脳神経外科部門を設置しあらゆる小児疾患に対応しています。 ・手術ではナビゲーションシステム、各種モニタリングなどを駆使し安全に行います。 ・小児科や小児外科と連携して集学的治療を行います。
●脊椎・脊髄疾患 頸椎症性脊髄症・神経根症 腰部脊柱管狭窄症 腰椎すべり症 頭蓋頸椎移行部疾患 脊髄・脊髄腫瘍	・動態レントゲン、CT、MRI →薬物治療、前方固定術、椎弓形成術、後方固定術 →摘出術、放射線治療、化学療法	・神経症状と画像検査から手術部位を決定し、検査結果から多数ある除圧術・固定術のうち最適な方法を選択します。 ・腫瘍の種類に応じて適切な治療方針を決定します。手術は顕微鏡下の脳の手術と同じ精度で行います。
●機能的疾患 顔面けいれん 三叉神経痛 難治性疼痛 てんかん 不随意運動症 痙攣	・MRI、脳波、その他の生理検査 →薬物治療、微小血管減圧術 →脊髄刺激、脳深部刺激術 →選択的扁桃体海馬切除術、焦点切除術 →脳深部刺激術 →バクロフェンポンプ留置術	・病態に応じて薬物治療と手術加療を行います。 ・薬物治療には種々の鎮痛剤や抗てんかん薬、ボツリヌス治療などがあります。

2025年手術実績（下段は2024年）

脳腫瘍手術	脳血管障害 （うち血管内治療）	外傷	小児疾患	脊椎・脊髄	機能的手術 （神経減圧術、他）	ガンマナイフ
116	65 (51)	35	18	24	6	52
111	102 (72)	44	26	26	9	55

府立医大 脳神経外科 医局 TEL 075-251-5541 FAX 075-251-5544
 URL <https://neurosurgery-kpum.jp>

救急対応 脳神経外科 TEL 075-251-5013（外来時間帯）
 救急外来 TEL 075-251-5645・5646